

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和7年10月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.93)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



広尾っ子応援団本部会議を開催しました

10月1日に広尾っ子応援団本部（地域学校協働本部）会議が行われました。会議では本部長の及川副町長の挨拶の後、事務局から、昨年の10月から今年の9月までの取組内容にかかわる報告がありました。

その後、協議事項として、①各学校の教育環境を生かした取組への対応、②学校の支援要望への対応、③応援団登録、応援メッセージ活動の促進、④情報発信、⑤放課後読書等ふれあい広場、⑥サテライト応援団本部について話し合いました。

委員の皆さんからは、「応援メッセージは子どもたちを励ましたり意欲をもたせたりすることに役立っている」、「広尾っ子応援団だよりはカラーで配付するとより見やすいのではないか」、「昔は、地曳網の体験ができていた」、「ルート336の花壇づくりなど、町の美化運動に子どもたちがもっと参加してくれるとよい」、「子どもたちの挨拶がよくできているように感じる」、「子どもたちとの関わりを深めることが大切」、「こうした取組を広尾高校の存続活動につなげてほしい」等の意見がありました。



広尾高校の第2回学校運営協議会より

9月25日に広尾高校の第2回学校運営協議会が開催されました。会議では、重点教育目標「セルフプロデュース力を身に付ける」の中間評価の説明と熟議「地域学の現状と今後の方向性」がありました。熟議の内容を紹介します。

【今年度の現状報告】・普段、経験できないよい体験が
できている ・サンタランドのPR発信ができた ・十
勝港の各施設見学でその役割がよく分かった 等

【今後に向けた意見】・小、中学校の「ひろお学」との
関連 ・見学からさらに学びを深める活動 ・ディスカ
ッションも必要 ・生徒の希望も大切に ・町の変遷も
知る ・町のプラス面（よさ）を学ぶ 等



*** 広尾高校の第3回学校運営協議会は、1月21日（水）に開催されます。**

広尾っ子へ応援メッセージが届きました！

7月下旬の16：30頃、ルル表玄関入り口で、カートを押した高齢者の女性が誤って倒れた直後に居合わせた者です。抱きおこすのも痛み、救急車を呼ぼうとした矢先、通りかかった広高柔道部数名が「救急車呼びますか」と頼もしく声をかけて頂き、すばやく、いつ救急車が来てもとドアを開けて、押さえていてくれました。その優しい行動にとても嬉しく思いました。あの時は大変ありがとうございました。

（町内、60代、女性、9月5日受取）

重点教育目標を目指す授業：広尾小

今回は、9月に行われた広尾小学校での3つの国語の授業の様子を紹介します。広尾小学校の重点教育目標は、「自ら考え、挑戦し、共に成長する子どもを育てる」です。

〈2年生：単元「わにのおじいさんのたからもの」〉

課題は「おにの子はたからものを見つけられたのかな」で、自分の考えの理由を、文章の叙述をもとにまとめました。進んで音読をしたり、先生の質問をよく聞き、積極的に発言したりするなど、学びに挑戦する子どもたちの姿が多く見られました。



〈3年生：単元「わすれられないおくりもの」〉

課題は「もぐらの気持ちの変化について考えよう」で、もぐらの気持ちの変化を読み取り、その理由を一人一人がタブレットにまとめ、全体で共有していました。最後まで、集中して学習を進める姿がありました。自ら考えることを大切にしていることがよく分かりました。



〈5年生：単元「大造じいさんとがん」〉

課題は「物語のやま場を見つけるには何に注目する？」で、タブレットを使い、これまでの学習から主人公の心情の振り返りながら、自分の考え（どこをやま場にしたか）をまとめました。タブレットで仲間の考えを共有して、自分の考えを広げていました。共に成長しようとする姿が感じられました。

